



平成29年に開催された全国高等学校 PTA 連合会大会静岡大会で、高校生代表として参加していた生徒が、YouTubeが次から次へと興味のあるコンテンツを提示してきてやめられないという発表しました。

偏った情報シャワーに気づこう！

この生徒の嘆きの声は今でも忘れられません。「ネットトラブルの予防と対策」がテーマでした。YouTubeで一度動画を見てしまうと、次から次へと関連する動画のリストが表示されて見たくなくなってしまい、YouTube が動画を見ることをやめさせてくれないと、やめることのできない自分に彼は悩んでいました。

私も、YouTubeで調べ事をするとうつから次へと関連する動画を提示してくるので、確かにいついつ見えてしまいます。みなさんはどうですか？



YouTubeは視聴者の好みに合う動画を次々に提示してきますが、通販サイトでもこちらの検索したデータや購入したデータを元にこちらの関心に合う商品を紹介してきます。また、Googleなどで検索した結果も、独自のルールで表示されますので、そのルールを知っている人は、自分のサイトが検索結果の上位になるよう対策を取ります。

このような仕組みは、ある面、知りたいことに関連する情報を得られるのでありがたいようにも思えますが、実は見たい情報だけを見て、真偽の確かではないコントロールされた情報をすべて信じるような、情報の偏りが生じてしまい、多様な価値観が見えなくなってしまいます。

みなさんもwikipediaで情報を調べることが良くあると思います。しかし、wikipediaは誰でも書き換えることができるので、そこで知り得た情報が真実かどうかは定かではありません。

ゴシップなど人が興味本位で検索したくなる話題のサイトについては、見る人が増えるほどに検索結果の上位に表示されるため、誤った情報が広まりやすくなります。そのため、みなさんのためにと誤った情報を善意ある人がフェイクニュースとして流してしまうことがあります。それは時として人権を傷つけることもあります。

日常生活に浸透するネットの活用は今後も広がっていくでしょう。今まで以上に情報を提供する側も情報を利用する側もモラルと知識を持つことが必要です。

ネットはとても便利です。しかし、使い方を間違えると刃物や自動車のように凶器にもなります。ルールで守られるのではなく、マナーとして対応する主体的な使い方を心がけたいですね。



4月には、3年生は民法の改正により成人として社会へのスタートを切ります。入学生は個々でChromebookを購入して入学してきます。Society5.0の社会をめざし、ネット社会を生き抜く智慧としてください。